

令和5年度 第1回教育課程編成委員会

令和5年7月13日 10:00～12:00
国際園芸アカデミー 研修室BC

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 検討事項

(1) 令和4年度カリキュラム（新カリキュラム）の実施状況について

- ・ 令和4年度 開講科目一覧 …資料1
- ・ 令和4年度後期 授業評価アンケート結果 …資料2
- ・ 分野別授業の実施状況 …資料3
 - ① マーケティング分野：「商品動向リサーチⅡ」「商品開発演習」
 - ② 花き装飾分野：「卒業研究・卒業制作Ⅱ」
 - ③ 造園緑化分野：「測量実習」「製図実習」
 - ④ マネージメント分野：「起業・経営シミュレーション」

(2) ぎふワールド・ローズガーデン（以下、「ぎふWRG」）の授業活用について

- ・ ぎふWRG内「花トピア」教育環境整備の状況について …資料4
- ・ 令和6年度 ぎふWRGを活用した授業計画について …資料5 資料6

5 求める人材について（意見交換）

- (1) 令和4年度インターンシップ受入企業の意見について …資料7
- (2) 各委員からの意見

6 閉会

令和5年度 第1回 国際園芸アカデミー 教育課程編成委員会 委員名簿

	分野	所属・役職	氏名	備考
委員長		岐阜県立国際園芸アカデミー 学長	今西 良共	
委員	学識経験者	岐阜大学応用生物科学部 教授	山田 邦夫	Zoom出席
委員	花き生産業界(切花)	ユーティローズ 代表者	宇野 充辰	(欠席)
委員	花き生産業界(鉢花)	小関園芸 代表者	小関 正司	Zoom出席
委員	花き装飾業界	ユリフラワーデザインスクール 副総長	内山 友樹	(欠席)
委員	造園緑化業界	(株)庭萬 代表取締役社長	稲垣 和美	Zoom出席
委員	流通業界	名古屋園芸株式会社 代表取締役	小笠原 誓	Zoom出席
委員	行政機関	農産園芸課長	大橋 薫子	Zoom出席
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	臼田 浩通	
委員		岐阜県立国際園芸アカデミー 教授	相田 明	

役職	氏名
岐阜県立国際園芸アカデミー 顧問	古澤 達也
岐阜県立国際園芸アカデミー 副学長	小野寺 誉
岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <花き生産コース>	井上 守
岐阜県立国際園芸アカデミー 講師 <花き装飾コース>	林 誠
岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <造園緑化コース>	新井 俊宏
岐阜県立国際園芸アカデミー 准教授 <マネージメント>	佐藤 智茂
岐阜県立国際園芸アカデミー 教務課長	山本 芳範
岐阜県立国際園芸アカデミー 教務係	長谷川 淳

資料1

2022年度（令和4年度）マイスター科1年生開講科目

○1年前期 開講科目

No.	分野	区分	科 目 名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	必修	栽培・生産論	白田	30
2	花き生産流通	必修	植物生理学	前田	30
3	花き生産流通	必修	花き生産実習	白田	90
4	花き生産流通	必修	園芸流通概論	井上	30
5	花き装飾	必修	園芸装飾実習Ⅰ	吉田	30
6	花き装飾	必修	フラワーデザイン実習Ⅰ	林	60
7	花き装飾	選択	3級園芸装飾技能検定対策実習	林	30
8	花き装飾	選択	3級フラワー装飾技能検定対策実習	安保	60
9	造園緑化	必修	造園学概論	相田	30
10	造園緑化	必修	花修景実習Ⅰ	相田	30
11	造園緑化	必修	造園施工・管理実習Ⅰ	新井	60
12	造園緑化	選択	3級造園技能検定対策実習	新井	45
13	マーケティング	必修	商品動向リサーチⅠ	井上	15
14	植物管理	必修	植物管理基礎実習Ⅰ	前田	60
15	国際性	必修	Global Communication in Horticulture Ⅰ	大脇	30

必修	495
選択	135

○1年後期 開講科目

No.	分野	区分	科 目 名	担当教員	時間数
16	花き生産流通	必修	イベント販売実習	井上	15
17	花き生産流通	選択	生産マネージメント実習Ⅰ	白田	60
18	花き生産流通	選択	生産課題解決演習Ⅰ	白田	45
19	花き装飾	選択	園芸装飾実習Ⅱ	吉田	30
20	花き装飾	選択	フラワーデザイン実習Ⅱ	林	60
21	造園緑化	必修	花修景実習Ⅱ	相田	30
22	造園緑化	選択	造園施工・管理実習Ⅱ	新井	60
23	造園緑化	選択	測量実習	新井	30
24	造園緑化	選択	製図実習	新井	30
25	造園緑化	選択	CAD製図実習	相田	30
26	マーケティング	必修	商品動向リサーチⅡ	井上	15
27	マーケティング	選択	商品開発演習	井上	30
28	マネージメント	必修	キャリアデザインⅠ	佐藤	30
29	マネージメント	必修	起業・経営シミュレーション	佐藤	30
30	文化・利用	選択	園芸色彩学	相田	30
31	文化・利用	選択	いけばな	片倉	15
32	文化・利用	選択	園芸福祉論・実習	相田	30
33	植物管理	必修	植物管理基礎実習Ⅱ	前田	30
34	国際性	必修	Global Communication in Horticulture Ⅱ	大脇	30
35	就業体験	必修	インターンシップⅠ	各コース担当教員	120

必修	300
選択	450

2022年度（令和4年度）マイスター1年生開講科目

○2年前期 開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
1	花き生産流通	選択	生産プロジェクト実習Ⅱ	白田	90
2	花き生産流通	選択	基礎育種学	前田	30
3	花き装飾	選択	フラワーデザイン実習Ⅲ	林	60
4	花き装飾	選択	2級フラワー装飾技能検定対策実習	吉田	90
5	造園緑化	選択	花修景実習Ⅲ	相田	30
6	造園緑化	選択	造園施工・管理実習Ⅲ	新井	60
7	造園緑化	選択	造園計画演習	相田	30
8	造園緑化	選択	2級造園技能検定対策実習	新井	30
9	マーケティング	必修	商品動向リサーチⅡ	井上	30
10	マネージメント	必修	キャリアデザインⅡ	佐藤	30
11	マネージメント	選択	起業・経営シミュレーション	佐藤	30
12	文化・利用	選択	園芸文化研修	今西	30
13	植物管理	必修	植物管理基礎実習Ⅲ	前田	30
14	国際性	必修	海外視察研修	井上	90
15	就業体験	選択	インターンシップⅡ	各コース担当教員	60
16			卒業研究・卒業制作Ⅰ(花き生産コース)	白田	
17	課題解決	必修	卒業研究・卒業制作Ⅰ(花き装飾コース)	林	60
18			卒業研究・卒業制作Ⅰ(造園緑化コース)	相田	

必修	240
選択	540

○2年後期 開講科目

No.	分野	区分	科目名	担当教員	時間数
19	造園緑化	選択	公園・緑化概論	今西	30
20	造園緑化	選択	造園工学・施工論	新井	30
21	マーケティング	選択	SNSプロモーション	井上	30
22	就業体験	必修	インターンシップⅢ	各コース担当教員	150
23			卒業研究・卒業制作Ⅱ(花き生産コース)	白田	
24	課題解決	必修	卒業研究・卒業制作Ⅱ(花き装飾コース)	吉田	270
25			卒業研究・卒業制作Ⅱ(造園緑化コース)	相田	

必修	420
選択	90

令和4年度 授業評価アンケート結果

資料 2

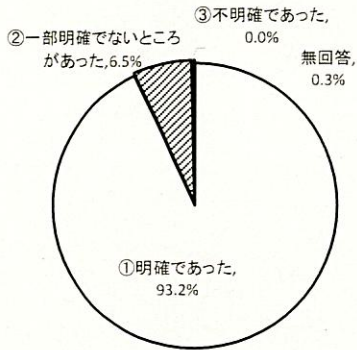
授業評価アンケート集計<1年後期>

シラバス No.	科目名	分野	履修区分	受講者数	難易度			教科書や資料の理解			質問や相談		知識や技術の習得		授業満足度			
					この授業の内容は、あなたにとってどのくらいの難易度でしたか。			教科書、配布資料、パワーポイントなどは理解できるものでしたか。			教員は質問や相談ができるように配慮していましたか。		あなたは、この授業を通して新しい知識や技術等を得ることができましたか。		あなたは、この授業に満足しましたか。			
					やさしい	適切	難しい	理解できた	一部理解できなかった	理解できなかった	配慮していた	配慮していなかった	できた	できなかった	非常に満足	満足	やや不満足	不満足
16	イベント販売実習	*****	必修	23	21.7%	73.9%	4.3%	95.7%	4.3%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%
17	生産マネージメント実習 I	*****	選択	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
18	生産課題解決演習 I	*****	選択	5	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
19	園芸装飾実習 II	*****	選択	16	6.3%	81.3%	12.5%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%
20	フラワーデザイン実習 II	*****	選択	10	10.0%	80.0%	10.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
21	花修景実習 II	*****	必修	23	13.0%	87.0%	0.0%	82.6%	17.4%	0.0%	95.7%	4.3%	100.0%	0.0%	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%
22	造園施工・管理実習 II	*****	選択	10	10.0%	90.0%	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
23	測量実習	*****	選択	8	37.5%	62.5%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%
24	製図実習	*****	選択	8	12.5%	87.5%	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
25	CAD製図実習	*****	選択	8	12.5%	75.0%	12.5%	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
26	商品動向リサーチ II	*****	必修	22	18.2%	77.3%	4.5%	90.9%	9.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
27	商品開発演習	*****	選択	7	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%
28	キャリアデザイン I	*****	必修	22	9.1%	86.4%	4.5%	90.9%	9.1%	0.0%	95.5%	4.5%	95.5%	4.5%	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%
29	起業・経営シミュレーション	*****	必修	22	9.1%	68.2%	22.7%	72.7%	27.3%	0.0%	90.9%	4.5%	95.5%	4.5%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
30	園芸色彩学	*****	選択	18	11.1%	88.9%	0.0%	88.9%	11.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%
31	いけばな	*****	選択	12	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
32	園芸福祉論・実習	*****	選択	8	0.0%	87.5%	0.0%	87.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%
33	植物管理基礎実習 II	*****	必修	22	18.2%	81.8%	0.0%	95.5%	4.5%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%
34	Global Communication in Horticulture II	*****	必修	22	9.1%	77.3%	13.6%	86.4%	13.6%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%
35	インターンシップ I	*****	必修	22	18.2%	72.7%	9.1%	90.9%	9.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	68.2%	31.8%	0.0%	0.0%
1年全体				293	12.3%	81.6%	5.8%	90.1%	9.6%	0.0%	98.6%	1.0%	99.3%	0.7%	45.4%	54.3%	0.3%	0.0%
					未回答: 0.3%			未回答: 0.3%			未回答: 0.4%							

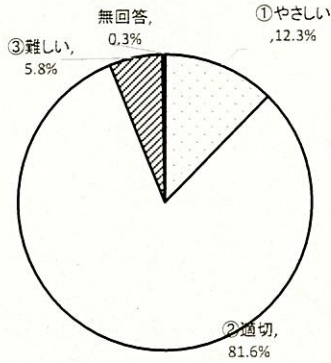
学生の授業評価アンケート結果

<令和4年度後期 マイスター科1年生>

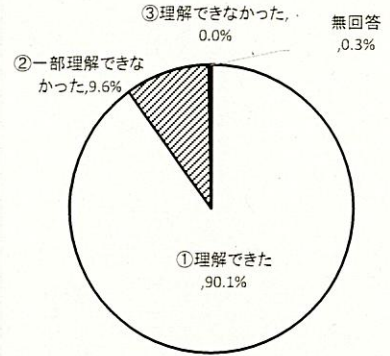
Q1: 授業のテーマ



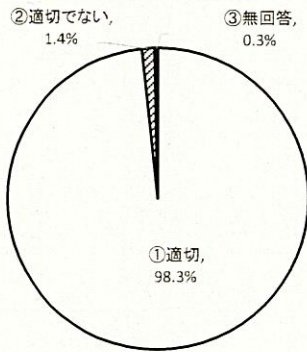
Q2: 授業の難易度



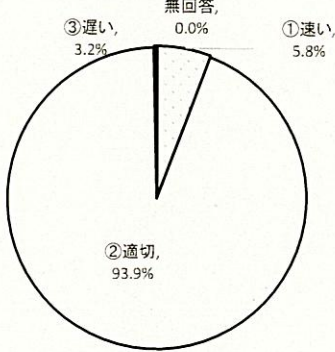
Q3: 教科書・資料のわかりやすさ



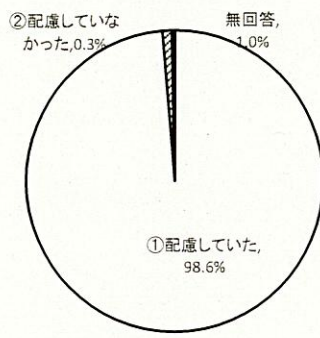
Q4: 教員の話し方



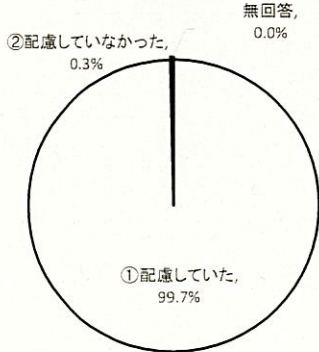
Q5: 授業の進め方



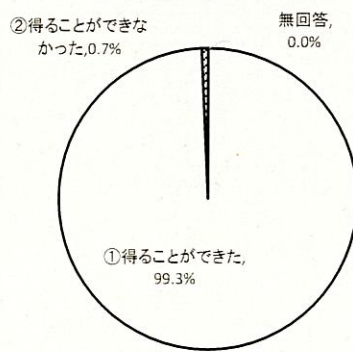
Q6: 質問や相談への配慮



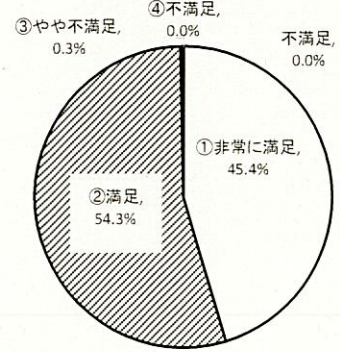
Q7: 学生の体調管理への配慮



Q8: 知識・技術の習得



Q9: 授業への満足度

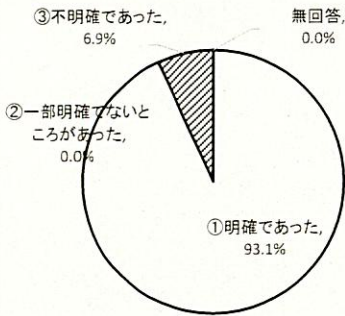


授業評価アンケート集計<2年後期>

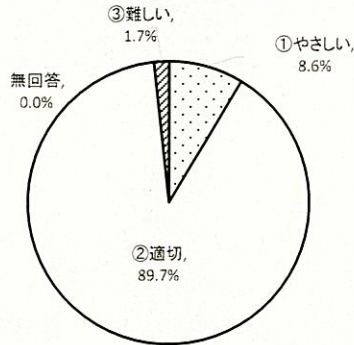
シラバス No.	科目名	分野	履修 区分	受講者 数	難易度			教科書や資料の理解			質問や相談		知識や技術の習得		授業満足度			
					この授業の内容は、あなたにとってどのくらいの難易度でしたか。			教科書、配布資料、パワーポイントなどは理解できるものでしたか。			教員は質問や相談ができるように配慮していましたか。		あなたは、この授業を通して新しい知識や技術等得ることができましたか。		あなたは、この授業に満足しましたか。			
					やさしい	適切	難しい	理解できた	一部理解できなかった	理解できなかった	配慮していた	配慮していなかった	できた	できなかった	非常に満足	満足	やや不満足	不満足
19	公園・緑化概論	芸術科	選択	7	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%
20	造園工学・施工論	芸術科	選択	6	16.7%	83.3%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
21	SNSプロモーション	芸術科	選択	7	42.9%	42.9%	14.3%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	85.7%	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%
22	インターンシップⅢ	芸術科	必修	20	5.3%	94.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	68.4%	21.1%	10.5%	0.0%
23	卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き生産コース）	芸術科	コース必修	4	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24	卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き装飾コース）	芸術科	コース必修	10	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25	卒業研究・卒業制作Ⅱ（造園緑化コース）	芸術科	コース必修	6	0.0%	100.0%	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
2年全体				60	8.6%	89.7%	1.7%	98.3%	1.7%	0.0%	100.0%	0.0%	98.3%	1.7%	75.9%	17.2%	6.9%	0.0%

学生の授業評価アンケート結果 <令和4年度後期 マイスター科2年生>

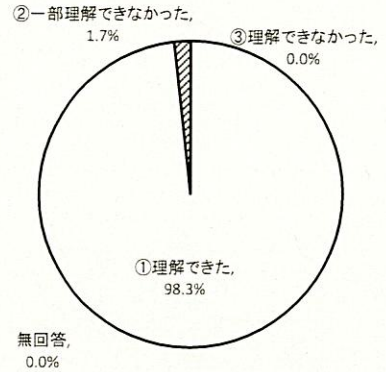
Q1:授業のテーマ



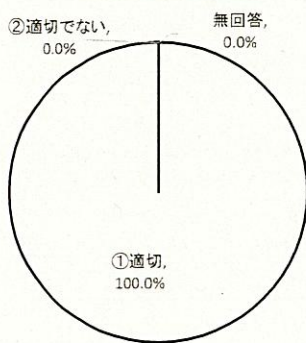
Q2:授業の難易度



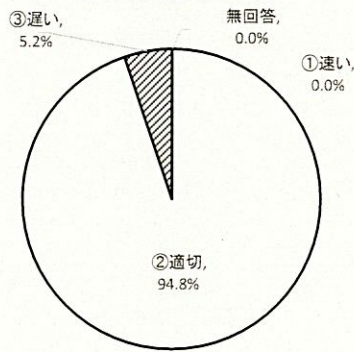
Q3:教科書・資料のわかりやすさ



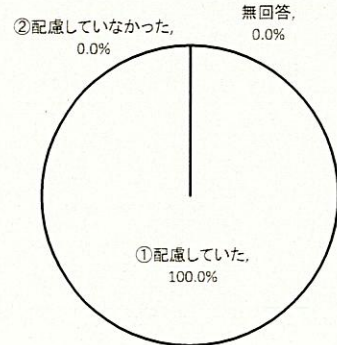
Q4:教員の話し方



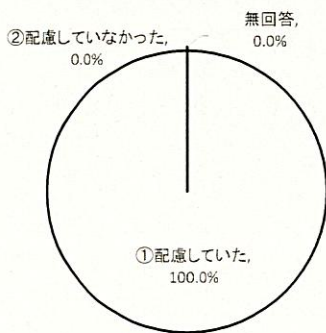
Q5:授業の進め方



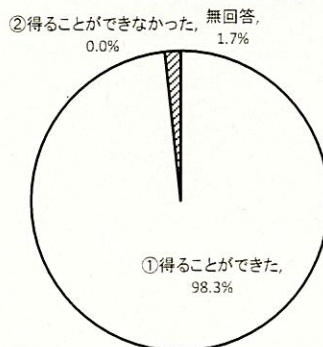
Q6:質問や相談への配慮



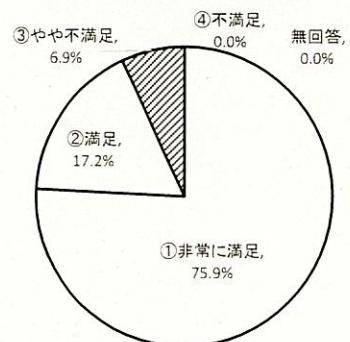
Q7:学生の体調管理への配慮



Q8:知識・技術の習得



Q9:授業への満足度



① マーケティング分野：「商品動向リサーチⅡ」＋「商品開発演習」

資料 3

	R3 年度	R4 年度	
科目名	商品動向リサーチⅡ	商品動向リサーチⅡ	商品開発演習
履修区分 (履修人数)	必修 (16名)	必修 (22名)	選択 (7名)
開講時期	2年・前期	1年・後期	1年・後期
時間数	30時間	15時間	30時間
担当教員	井上 守	井上 守	井上 守

[授業編成の目的]

従来は「商品動向リサーチⅠ (30時間)」を1年後期、「商品動向リサーチⅡ (30時間)」を2年前期に実施して、1年を通して園芸店に足を運び、実際に販売されている状態の植物を手に取り、その特徴や魅力などを学んできた。しかしながら、2年後期からはインターンシップが始まり、日程的に余裕がなく、さらには知識を商品開発につなげる授業がなかったため、せっかく学んだ知識であるが、卒業研究等に十分生かし切れていなかった。

そこで、「商品動向リサーチⅠ」を1年前期、「商品動向リサーチⅡ」を1年後期にそれぞれ半年前倒すとともに時間数を15時間に半減させた。かわって、1年後期に「商品開発演習 (30時間)」を創設し、学んできた植物の魅力や特徴を、商品やサービスに生かす術を1年生の間に習得することとした。

このことで、2年前期から、それら知識を活かし卒業研究の課題を見つけたり、準備にかかる事が可能となり、2年後期の卒業研究のテーマの幅を大きく広げることができる。

[各授業の内容]

● 「商品動向リサーチⅠ」「商品動向リサーチⅡ」

従来は、「商品動向リサーチⅠ」を1年後期からスタートし、引き続いて2年前期の「商品動向リサーチⅡ」につながる体系となっていた。それぞれ30時間の時間数があったため、ゆったり学べていた。一方で、新カリキュラムではそれぞれ15時間と半減し、さらには、まだ植物に触れた時間が少ない入学直後に授業が始まるため、学生の負荷を軽減するために2つの対策を行った。

一つは2～3人のグループでデータベースを作成することである (図1)。このことで、入学時の植物知識に差があるものの、協力して作業を進めることで、その差を感じなくする。

もう一つは時間数が減ったことによる対策として、Google フォトの画像共有を行った。これにより、植物画像の検索や画像管理作業を効率化、時間不足を補っている。(図2)



図1 チームでデータベースを作成



図2 Google フォトで共有されるデータベース

●「商品開発演習」

SWOT 分析とは、商品の「強み」や「弱み」を分析して書き出し、企業の商品開発の戦略を立てるとき使われる、マーケティングに欠かせない分析方法である。しかし、ほとんどの学生が SWOT 分析を行った事がないため、最初に全員で大垣の特産物であるひょうたんについて、安田ひょうたん店の社長からレクチャーを受け（図3）、全員で意見を出し合いながら SWOT 分析を行った（図4）。このことにより、その商品の持つ環境や特徴、特性をどのように処理したら良いの感覚がつかめた。



図3 安田ひょうたん店での調査

ひょうたんの商品化について	
長所	短所
Strength <ul style="list-style-type: none"> ・ 古くなる、かっこよくなる ・ 大きさが決められる ・ 話題性の高しがある ・ 食べられる ・ 使い道が多数 ・ 単価が高い ・ 販路の幅り物として最高! ・ ヒョウタン専門店として日本一 	Weakness <ul style="list-style-type: none"> ・ 大量生産できない ・ 趣味のレベルに甘んじている ・ ネットでは商品の詳細を表現できない ・ 単価が高い ・ 営利生産に向かない(儲からない) ・ くりぬくとき、臭い ・ 広い場所がある ・ 大きいものは場所をとる ・ 新鮮さに欠ける、興味ない ・ 形に新鮮味がない
Opportunity <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じものがない ・ 歴史がある ・ 芸術性がある ・ 平販人が多数訪問 ・ 着色しやすい ・ 競争相手が少ない 	Threat <ul style="list-style-type: none"> ・ 作るのが大変 ・ 傷が付きやすい ・ ヒョウタンの認知度が低い ・ 加工しにくい ・ 高熱化 ・ 速い干ばつなところ ・ 賞味が短い ・ 膨れがたくさんいる

図4 ひょうたんの SWOT 分析

学生は、各コースの専門の授業で取り扱っている植物や取り組んでいるイベント、活動について、SWOT 分析を行った。そして、SWOT 分析を用いて具体的な行動や戦略を考えるクロス SWOT 分析まで行った（図5）。

チリカブリダニのクロス SWOT 分析を行った学生は、生物農薬の普及を促進するためには、チリカブリダニはハダニ類を退治する赤いヒーローとしてプロデュースし、一般に PR することで普及が促進されると考え、赤いパッケージに赤いヒーローのイラストをいれるアイデアを考えた（図6）。

<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライフラワーの商品化 ・ プールベンチの特徴 ・ 生物農薬チリカブリダニの販促 ・ マイクロ寄せ植えの現在地 ・ 学園サブスクリプションサービスの可能性 ・ フラネルフラワーの販促
--

図5 学生が実践した SWOT 分析

クロスSWOT分析	
強み(S)	機会(O)
S1 ハダニを食べてくれる S2 一筐で4区相手できる S3 世界救済 S4 気温 20~25℃、湿度 50%以上で最適な環境になる	O1 赤いから区別しやすい O2 一びんたくさんいる O3 農薬を使わないため安心 O4 敵のわりに安い O5 農薬に比べたら初心者でも安心して使える
弱み(W)	脅威(T)
W1 赤いから区別しにくい W2 農薬散布のタイミングが分らない W3 30℃以上の活動に期待できない W4 ダニに特化しすぎ	T1 ダニのイメージが悪い T2 農薬散布のタイミングが分らない T3 30℃以上の活動に期待できない T4 ダニに特化しすぎ
<環境的姿勢>	<差別化>
O1 × S3 赤いヒーローを作りアピールしていく S1 × O3 初心者セールなどを行いより生物農薬を身近なものにしていく S2 × O4 安い単価を売りにしていく	T1 × S1 新聞やニュースで取り上げてイメージを定めていく T3 × S4 温度調節をこまめに行う T3 × S1 量は農薬、冬~春にかけてスパイクと時期で活用していく

図6 チリカブリダニのクロス SWOT 分析

[新規授業及びカリキュラム組み替えによる効果等]

今年の2年生は商品開発演習で行った SWOT 分析のテーマが卒業研究につながっている例がほとんどで、1年時に行った成果が出ているといえる。

また、商品開発演習を行ったことで、「この作業やプロジェクトは、何が強みなのか?」あるいは「どういう弱みをカバーするため行うのか?」「何をターゲットにするのか」、これにより「得する人は誰なのか」というマーケティングを意識して考える習慣ができたように感じる。

② 花き装飾分野：「卒業研究・卒業制作Ⅱ（花き装飾コース）」

	R3 年度	R4 年度
科目名	卒業研究・卒業制作（装飾コース）	卒業研究・卒業制作（装飾コース）
履修区分（履修人数）	必修（4名）	必修（10名）
開講時期	2年・後期	2年・後期
時間数	270 時間	270 時間
担当教員	吉田 久美子	吉田 久美子

[背景と目的]

今まで学んできたことや、インターンシップの経験から、得意、不得意を把握し、各自、課題を見つけ卒業までに何を習得すべきなのかを考え、計画を立て実践し、職業園芸人となるべき技術を身につけることを目的とする。

[到達目標]

- ・各自の課題設定に基づき、計画を立て、実践的で即戦力となる技術を習得する。

[授業内容（昨年度からの変更点）]

令和4年度においては、学内に止まらず、学外での制作や活動にも力を入れた。ディスプレイや活け込みを課題に設定した学生は、可茂総合庁舎の花飾りやJR岐阜駅隣接のアクティブGのクリスマス装飾など、実際にお客さまの目に触れる場所での制作及び展示を行った。

また、花育を課題に設定した学生は、日本フラワーデザイン協会岐阜支部が行う小学校での花育に参加した。可児市立帷子小学校、川辺町立川辺西小学校、御嵩町立上之郷小学校などで行う実際の花育に参加し、子どもを対象とした講座やワークショップなどの進め方のポイントや注意点について、実体験を通じて学ぶ機会を設けた。

[授業内容の変更による効果等]

卒業制作を、学内でシチュエーションを想定して取り組むのではなく、実際の行事やイベントなどとマッチングさせた。これにより、お客様の生の声が直接返ってくるため、学内で行うよりも失敗しないよう、自ら何度もシミュレーションを行うなど、高い緊張感をもって取り組む姿が見られるとともに、改めて事前準備が重要であることに気づくきっかけを与えられた。



また、イベント主催者の意図を組むことや、搬入・施工など制作現場の注意点を身をもって知ることで、予算や仕入れの大切さも学ぶことができた。

花育では年齢や対象者に合わせた進め方や注意点を身をもって体験し、考察することができた。

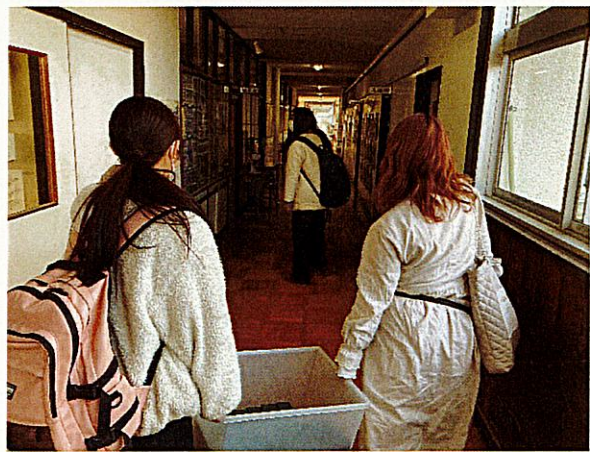
- 仕入れ「名古屋松原生花仲卸し」：予算や仕入れの大切さを知る。



●花飾り「可茂総合庁舎」：お客さまに喜んでいただけるよう何度もシミュレーションを行い、事前準備の大切さを学んだ。



●花飾り 岐阜駅隣接「アクティブG」：搬入、施工の現場経験を積むことができた。



●花育「帷子小学校特別支援学級」：年齢や対象者に合わせた進め方や注意点を学んだ。

③ 造園緑化分野：「測量実習」＋「製図実習」

	R3年度	R4年度	
科目名	測量・製図実習	測量実習	製図実習
履修区分（履修人数）	選択（7名）	選択（8名）	選択（8名）
開講時期	1年・後期	1年・後期	1年・後期
時間数	30時間	30時間	30時間
担当教員	相田 明	新井 俊宏	新井 俊宏

[カリキュラム編成の目的]

・測量および製図は、造園空間を計画・設計、施工の際に必要な基礎的な技術である。この技術を備えてこそ造園空間の計画・設計および施工が可能となる。R3年度までは、1科目30時間で測量と製図の基礎を習得するには、絶対的な時間数が不足していた。そのため、科目を2つに分け、時間数を倍増させるカリキュラムの見直しを行った。

[各授業の内容]

● 「測量実習」

- ・測量の基礎知識、距離測量（※）
- ・平板測量の理論と実践（※）
- ・水準測量の理論と実践（※）
- ・地形測量の理論と実践
- ・トータルステーションの据付と観測方法
- ・起工測量と丁張の設置方法と実践

● 「製図実習」

- ・製図用具の種類と取り扱い、図面の種類と描き方（※）
- ・図面と縮尺、文字・数字の書き方
- ・造園樹木の平面図、立面図の表現方法（※）
- ・造園計画平面図（住宅庭園）の表現方法、着彩（※）
- ・各種構造図の製図（※）
- ・アクソメ図、パース図の作成
- ・造園計画平面図（街区公園レベル）の表現方法、着彩
- ・造園計画平面図（総合公園レベル）の表現方法、着彩

（※） R3年度までの授業内容

[新規授業及びカリキュラム組み替えによる効果等]

- ・R3年度からR4年度で授業を分割する際に担当教員を変更し、授業内容の見直しを図った。
- ・時間数が増えたことにより、これまでよりも幅広い内容の授業を実施することが可能となった。
- ・同一の教員が授業を行うことにより、測量と製図を関連付けながら行うことが可能となった。

- ・時間数が増え、測量や製図を繰り返し行うことにより、習得度が向上した。
- ・R5年度の2年生から当カリキュラムで受講している。現在、2年生の実習において、測量と製図のレベルが前年度よりも向上していると感じる。

○R3年度 授業アンケート

満足度：非常に満足33.3%、満足33.3%、やや不満足16.7%、不満足16.7%

自由記載：「課題の内容が線を書くだけのものなど、新しい知識や技術を得られなかった。課題内容を見直したほうが良い。」

「授業というより作業に近い。ポイントなどの説明がなく、ただ線・絵・図を書くだけで力がついたと思えなかった。」

○R4授業アンケート

・測量実習

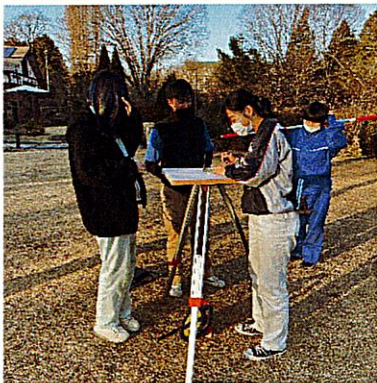
満足度：非常に満足37.5%、満足62.5%、やや不満足0%、不満足0%

自由記載：「とても面白かったです」

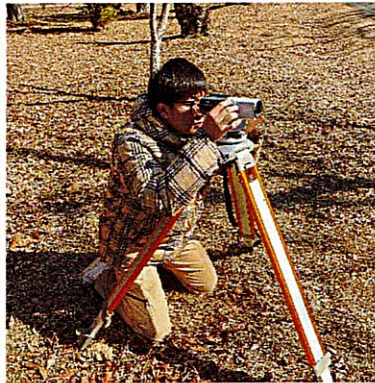
・製図実習

満足度：非常に満足25%、満足75%、やや不満足0%、不満足0%

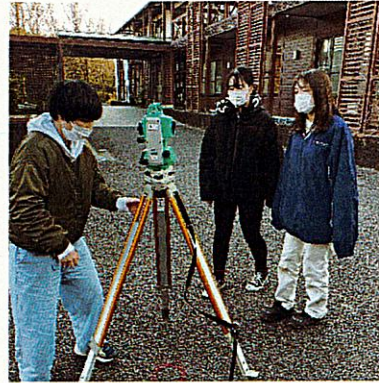
自由記載：「楽しかったです」



測量実習・平板測量



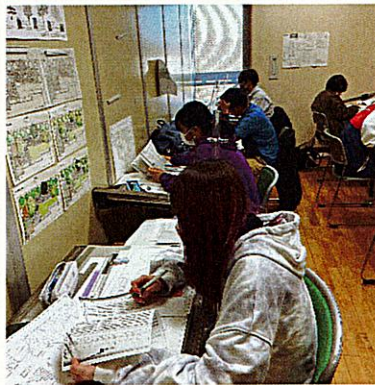
測量実習・水準測量



測量実習・TS操作



測量実習・丁張設置



製図実習



製図実習

④ マネージメント分野：「起業・経営シミュレーション」

	R3 年度	R4 年度
科目名	起業・経営シミュレーション	起業・経営シミュレーション
履修区分 (受講人数)	選択 (8名)	必修 (22名)
開講時期	2年・前期	1年・後期
時間数	30 時間	30 時間
担当教員	佐藤 智茂	佐藤 智茂

[カリキュラム編成の目的]

- ◇ 必修化の理由：教育課程編成委員会等、学校内外機関の要請に基づく措置
 - 少子化、国際競争、新規事業育成→アントレプレナーシップ教育 (文科省・経産省等)
- ◇ 開講時期の変更理由
 - 必修化に伴う措置 *全学生が履修する科目、基礎～専門科目としての位置付け
 - 1年生時点での教育に因る、他科目学習への波及効果 (将来の花き園芸業界の担い手としての自覚、自負心 等)

[授業の内容]

全 15 回講義

- ◇ 第 1 回 : 経営学史 (テイラーイズムから人間関係論への変遷)
- ◇ 第 2 回 : 経営資源概説 (ヒト・モノ・カネ・情報)
- ◇ 第 3～5 回 : 株式会社について (概説 1 回、ゲーム形式演習 2 回)
- ◇ 第 6～7 回 : ヒトについて (組織・動機付け等)
- ◇ 第 8～10 回 : モノについて (マーケティング理論、ケース演習)
- ◇ 第 11～13 回 : カネについて (会計学)
- ◇ 第 14 回 : これまでの授業の振り返り
- ◇ 第 15 回 : 期末考査

[カリキュラム組み替えによる効果等]

ポジティブな効果

- ◇ 「自分たちが働く会社・組織」とはそもそも何か、ということへの理解の助長
- ◇ 組織と個人の関係や、職務に対する個人の動機付けの内省 等

その他

- ◇ 授業内容の難度 (1/4 程度の学生が『難しい』と感じていること)。取り扱っている内容には抽象的な概念も含まれるため、そのように感じる者も現われる。→具体的な事例に落とし考えさせた上で分かりやすい説明を実施。*Ex:マーケティングの事例として株式会社パークコーポレーション (首都圏を中心に生花店『青山フラワーマーケット』を展開している企業) を取り上げる、等。

総括

- ◇ 起業のみならず、企業へ入社して働くことを通して「よりよい人間社会をつくるために」自分の就労・努力は役立つ、という意識を持たせる一助になったのではないかと思慮する。
*アントレプレナーシップ教育の定義は「起業家精神」、「新しいコトへ挑戦する姿勢」の涵養としている場合が多い。

【以下は参考資料】

●授業評価アンケート『授業難易度』要素と『授業満足・不満足度』要素のマトリックス (担当教員作成)

	易しい	適切	難しい
満足	9.1%	68.2%	22.7%
不満足	0 %		

●授業評価の記述コメント (全) *下線は担当教員記

- ✓ 選択にしてほしいです。ちょっと理解できなかった。
- ✓ プリントが多いのでファイル作って欲しい・・・。
- ✓ BS/PL の所を詳しくしれてよかった。
- ✓ むずかしかったけど、がんばろうと思った。
- ✓ 経営のことについて深く学ぶことができました。
- ✓ ありがとうございます。
- ✓ とても楽しかったです。

国際園芸アカデミーの教育環境整備について

1 経緯

【R2年度】・国際園芸アカデミー有識者会議が、経営感覚に優れた人材育成を行うため、ぎふワールド・ローズガーデン（WRG）をアカデミーの実践教育のフィールドとして有効に活用し、サテライト機能を有する施設等を整備し、実践的な教育を行うことを提言。

<有識者会議 提言内容>

- (1) 学生の作品の展示・販売ができる直売所・交流施設の整備
- (2) 実習フィールドに付帯する座学が行える実習棟の整備

【R3年度】・有識者会議の提言を踏まえ、必要な施設整備等に関する基本構想を作成。

<基本構想 要点>

- 有識者会議の提言を踏まえて、公園内の花トピアを改修する施設整備方針を策定
 - (1) 即戦力となる人材を育成するため、仕入れから販売まで一貫した授業ができる販売・展示スペースの整備
 - (2) 実践教育のフィールドとして、実習と座学の連携開催が可能な、ICT機器等を備えた研修室や、更衣室・シャワー室の整備

【R4年度】・施設整備に向けて実施設計を実施。

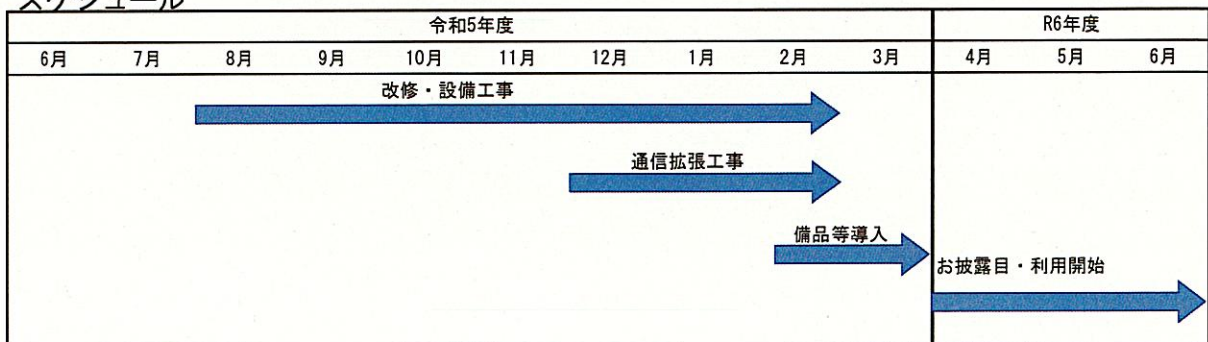
2 R5年度の事業計画

○施設整備のための改修工事、設備工事、備品等の導入を行う。

- ・改修工事 : 販売展示スペース、更衣室・シャワー室、研修室
- ・設備工事 : 研修室ICT機器及び空調設備
- ・通信拡張工事 : 学内ネットワーク拡張
- ・備品等導入 : 切花用冷蔵庫、資材収納庫、展示用什器、POSレジ等

<事業費>	全体整備費	76,434千円
	改修・設備工事費	64,854千円 (工事請負費+工事監理料)
	ネットワーク工事費	3,026千円
	備品等購入費	8,554千円

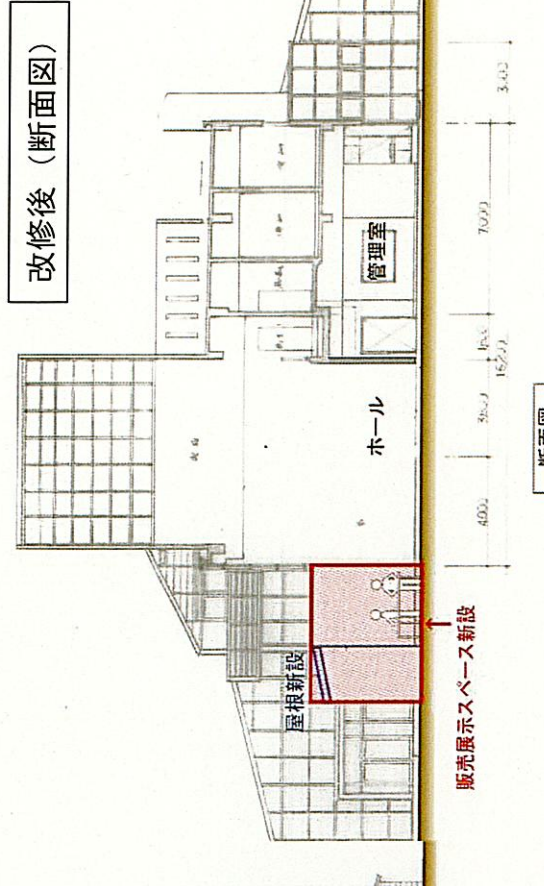
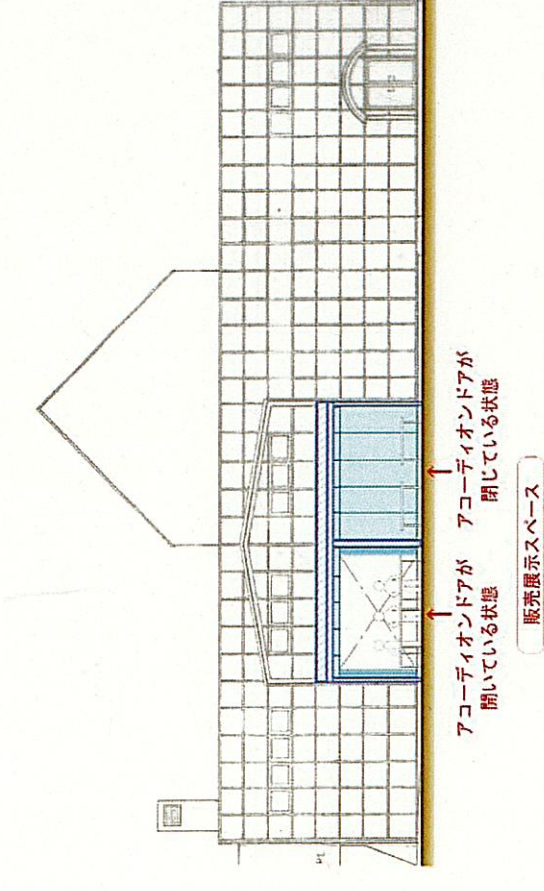
3 スケジュール



国際園芸アカデミー教育環境整備事業 花トピアの改修案



現状 (写真)

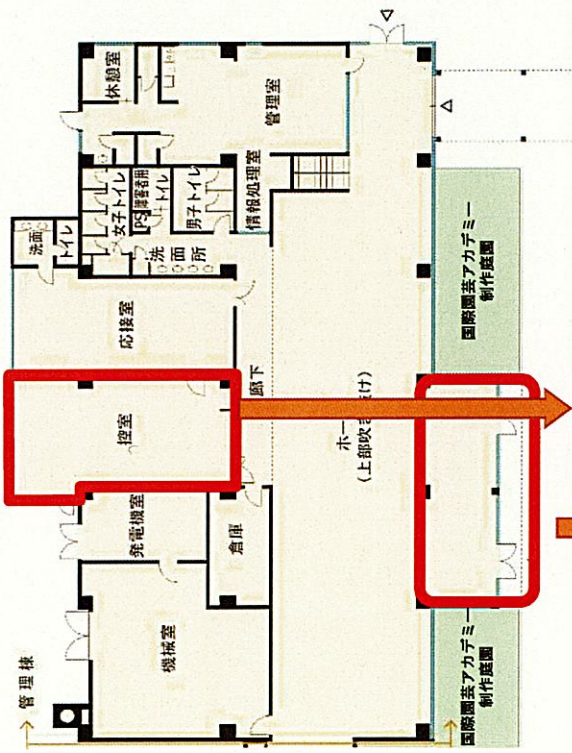


改修後 (断面図)

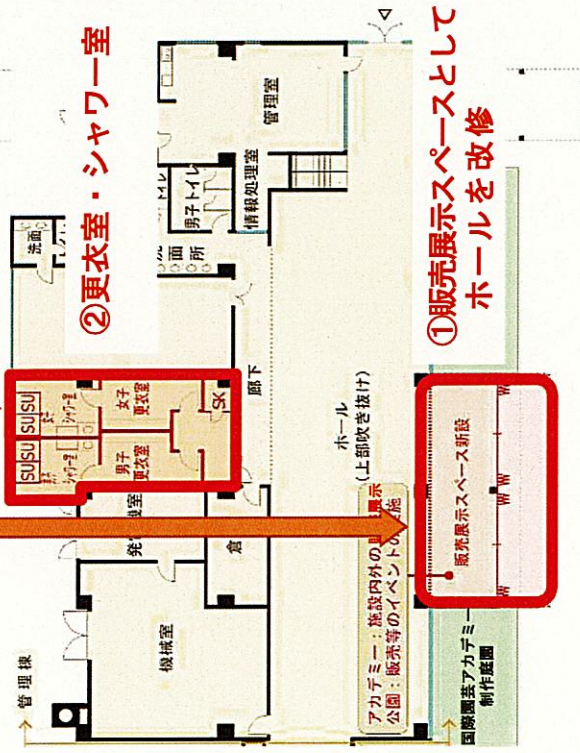
断面図

国際園芸アカデミー教育環境整備事業 花トピア改修案

花トピア 本館 1階



現状

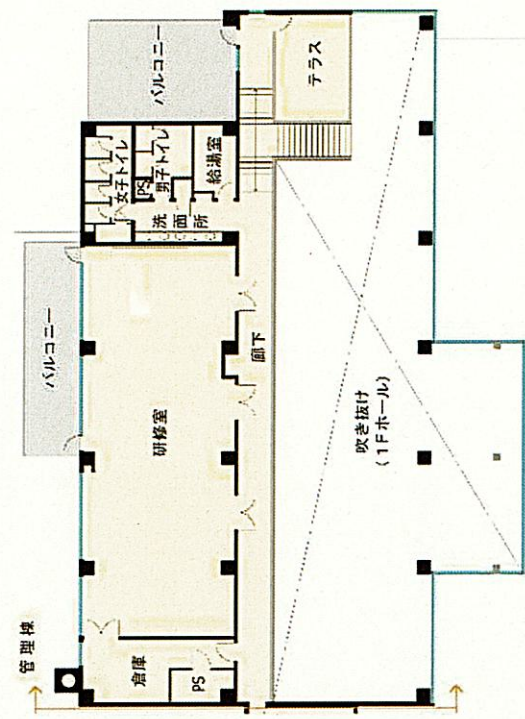


改修後

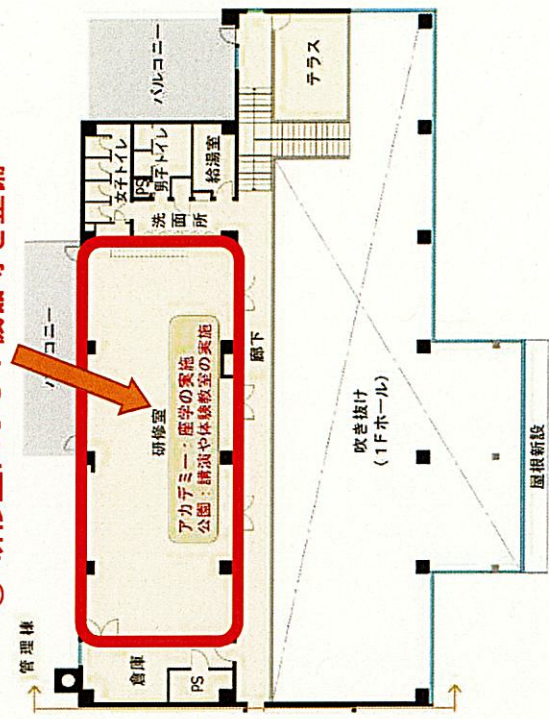
②更衣室・シャワー室

①販売展示スペースとして
ホールを改修

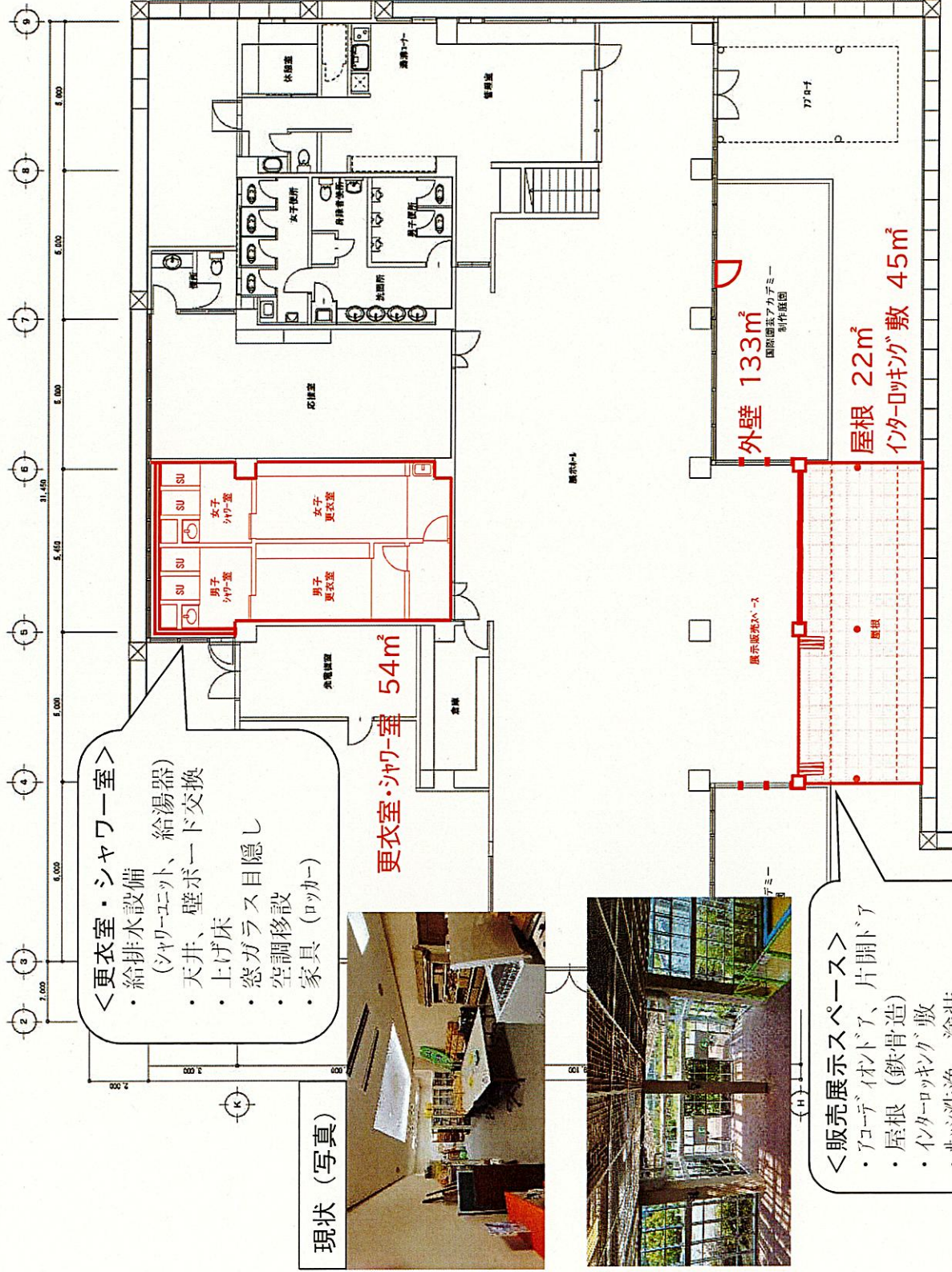
花トピア 本館 2階



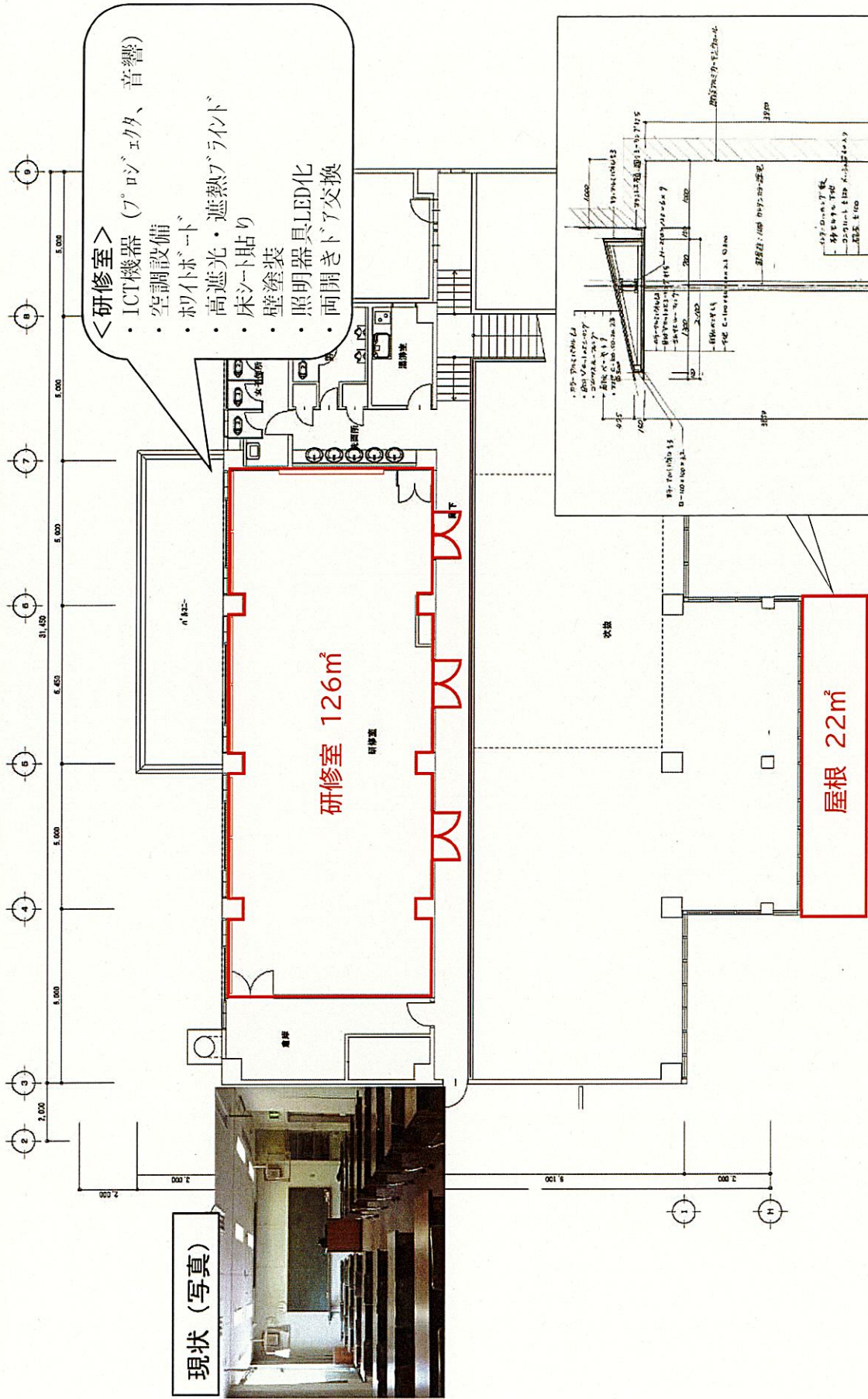
③ 研修室にICT機器等を整備



花トピア改修工事 図面 (1階)



花トピア改修工事 図面 (2階)

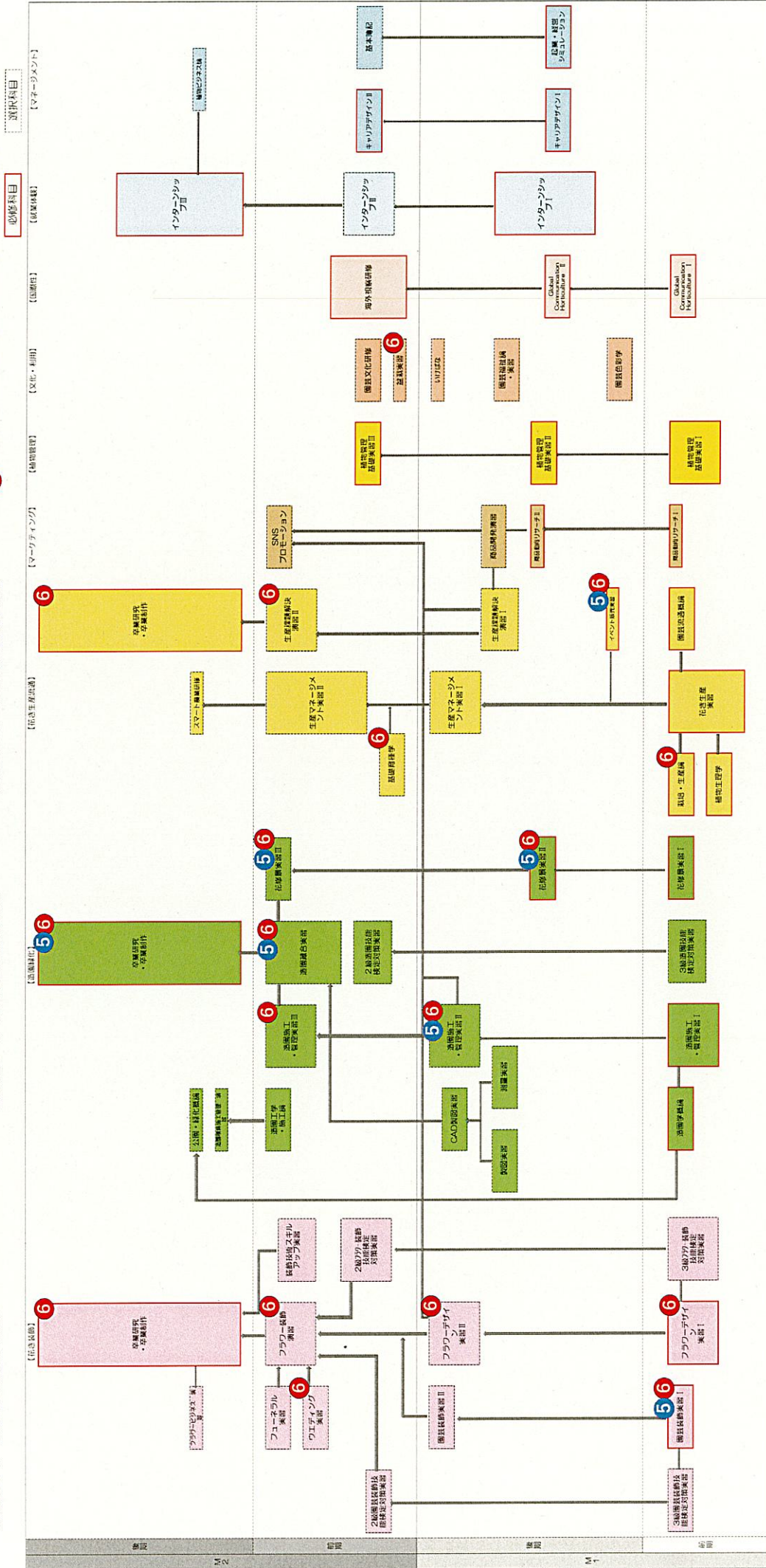


国際芸術アカデミー カリキュラム編成図 (令和4年度入学生以降適用)

国際芸術アカデミー カリキュラム編成図 (標準)
 花巻芸術コース カリキュラム編成図 (標準)

【注】5: 令和5年度以降に必須ワールドローズカーテン座トピアを利用した授業
 【注】6: 令和6年度以降に必須ワールドローズカーテン座トピアを利用する予定の授業

資料5



ぎふWRG活用により期待される効果

- ・実習の様子や制作物が、公園来場者の目に留まることにより、学生は緊張感を持って臨むことができる。また、来場者の反応を学生にフィードバックすることにより、高い学習効果が期待される。
- ・年間40万人以上が来場される県営公園の、広い空間への植栽や装飾デザイン、管理について実践的に学ぶため、公園管理の仕事に対する理解をより深めることができる。

ぎふWRG活用における運営課題

- ・本校とぎふWRGの移動には往復1時間が必要であり、移動時間を考慮した時間割編成が必要となる。
- ・屋外の実習では、天候により授業時間の変更が必要となる。
- ・ぎふWRGでの授業準備（実習資材等）、切花の展示のメンテナンス（水管理、切り戻し、差し替え）などの業務が必要となる。

分野	時期	科目名	必・選	授業時間	うちぎふWRG活用時間		R6活用区分		授業内容	各授業のぎふWRG活用により期待される効果
					R5実績	R6計画	実習フィールド	展示販売スペース		
花き生産流通	1年前期	栽培・生産論	必	30		4	○	○	病虫害の観察及び対策	公園管理で問題となる病虫害の観察や対策を現地で学ぶことができる。
	1年後期	イベント販売実習	必	15	15			○	販売実習	本校で生産・制作した商品を直接消費者に販売することで、ビジネス活動の一連の流れを学ぶことができる。
		生産課題解決演習Ⅱ	選	60		8		○	販売実習	
	2年前期	基礎育種学	選	30		2	○	○	枝変わり個体の探索	豊富な植物種を有する公園において枝変わり個体を探索することで、育種における選抜眼を養うことができる。
		園芸装飾実習Ⅰ	必	30	4	4		○ +園内	園芸装飾の視察調査	公園内の園芸装飾事例を多く学ぶことができる。
	花き装飾	1年前期	フラワーデザイン実習Ⅰ	必	60		64		○	制作展示
フラワーデザイン実習Ⅱ			選	60		48		○	制作展示	いただいた「評価」をもとに、反省点や改善方策の検討、また、新たなアイデアの着想につなげるなど、学修効果の更なる向上が期待される。
2年前期		ウェディング実習	選	30		16		○	制作展示	
		フラワー装飾演習	選	60		16		○	制作展示	
1年後期		花景実習Ⅱ	必	30	12	12	○	○	花壇植栽・管理	来園者へ植栽や管理技術を見て頂くことにより、学生のモチベーションが向上するとともに、公園管理の仕事を学ぶことができる。
		造園施工・管理実習Ⅱ	選	60	4	4	○	○	造園管理	公園内の庭園空間の管理手法について学ぶことができる。
造園緑化	1年後期	造園施工・管理実習Ⅲ	選	60		4	○	○	造園管理	
		花景実習Ⅲ	選	30	30	30	○	○	花壇管理	実習フィールド以外の花壇や公園内イベント等を考慮し、実習フィールドの花壇をいっお客様に見ていただくか、そのためにはどのような管理をするか、公園全体の中での管理手法について学ぶことができる。
	2年前期	造園総合実習	選	90	66	44	○	○	造園施工	不特定多数の人が利用する公園内では、快適性や安全性等に配慮しなければならぬ。そのための設計・施工の方法を学ぶことができる。
		盆栽実習	選	15		15	○	○	盆栽制作	学生の制作した盆栽を一定期間展示することも可能であり、学校のPRができる。
	2年後期	卒業研究・卒業制作【花き生産】	必	240		16		○	販売実習	本校で生産・制作した商品を直接消費者に販売することで、ビジネス活動の一連の流れを学ぶことができる。
		卒業研究・卒業制作【花き装飾】	必	240		32		○ +園内	制作展示	園内の装飾をデザイン・施工管理・撤去と一連の流れを学ぶことができる。
卒業研究・卒業制作【造園緑化】	必	240		56	44	○	○	庭園制作	来園者へ制作した庭園を見て頂くことにより、学生のモチベーションが向上する。	
合計					187	378				

↑(※)日数換算によると約47日。R5の年間開講日は192日のため、年間開講授業の1/4が、ぎふWRGでの開講となる。

(※令和4年度インターンシップ受け入れ先のうち、計47の企業・団体からの意見を抜粋。)

(1) 業界が求める人材

- ・朝早い仕事なので、早起きが苦痛でない方。【市場】
- ・言われたこと+αの部分ができること。(考えて行動できる)【生産】【園芸店】【装飾】
- ・SDGs等、新たな取組みが社会的に進む中、変化に対応する力。【生産】
- ・忍耐力、協調性などが身につく指導をお願いしたい。【装飾】
- ・お花や植物が好きな気持ち、素直に学ぼうとする姿勢。【装飾】【園芸装飾】
- 【造園】
- ・少しの違いに関心・興味を持てる事。【装飾】
- ・あいさつははっきりと目を見て元気よく。それが社会人の第一歩。【装飾】
- ・コミュニケーション、笑顔。元気のある人。【装飾】【造園】
- ・花が好きだけでは続けていけない。仕事に対する理解が大切。【装飾】
- ・地頭の良い学生。アカデミーは少し技術習得に偏っている様に思う。【装飾】
- ・体力。【園芸装飾】【造園】【公園】
- ・自分のアイデアを相手に伝える能力(アウトプット力)【園芸装飾】
- ・アルバイト等の社会経験。【造園】
- ・新たなソフトの習得に積極的に取り組む意欲のある人材。【造園】
- ・クライアントが何を必要としているかの理解力。【造園】
- ・社会人としての規律やルール、会社の規則等を順守できる。【造園】
- ・設計だけでなく、施工にも興味がある人。【造園】
- ・人様の役に立てるような心構え、覚悟。【造園】

(4) 学校への意見・要望

- ・本社との研究開発や調査にご協力いただき、ありがとうございます。【生産】
- ・時代の流行やこれからヒットするかもしれない商品やデザインを少しでも多く学生に学ばせて欲しい。【装飾】
- ・インターンシップがきっかけとなり、花に携わりたい学生と繋がることができ、良い経験となりました。【装飾】
- ・とても優秀な人材を紹介いただき感謝しています。卒業生とも良好な関係であると良く聞きますが、初めての職場で大変な中、支えてくださっている事が本当に助かっています。【装飾】
- ・公立で園芸・フローリストに特化したカリキュラムは貴重だと思います。卒業生が業界で大きく活躍されることが、後進の励みになると思います。【装飾】
- ・毎回モチベーションの高い生徒さんのインターンシップありがとうございます。小売業に興味をもっていただける事があれば今後も協力させていただきます。【園芸店】
- ・インターン中の仕事内容の中に経験していた作業がありとてもびっくりしました。学校の授業内容に興味があります。外部講師さんに来てもらっていると伺いましたのでそちらも詳しく聞いてみたいと思います。【冠婚葬祭】
- ・前向きに取り組む姿勢が大切と思いますが、比較的そのような生徒さんが多いと感じます。弊社にてお手伝いできることがあればおっしゃってください。【造園】
- ・段取りの都合がありますので、予定を早めに且つ細かい事でも報告して頂けると助かります。【造園】
- ・御校のことを周りに伝えると、若かったら行ってみたいとおっしゃる方が少なからずみえます。しかし、伝える前は知らなかったとおっしゃるので、もっとお知らせするといののかなと思います。年齢が上の方も参加できること(科目履修)などもっと伝えると喜ぶかたが増えると思いました。意欲の高い学生さんが多く、今後も楽しみにしております。【造園】
- ・社会人になってから行う新入社員研修に近いマナー研修を学校の教育に取り入れたらよいと思いました。【造園】
- ・造園の楽しさは、自然のモノを扱い、どう活かすか。自分で考えた風景をカタチあるモノに創り上げ、そこで何を提供するのか?ここが醍醐味だと思いますので、学生時代に少しでも、幅広く体験できる機会があれば、造園の素晴らしさを感じてもらえると思います。【造園】
- ・学生さんが来られると社内の若い人材が教える立場になり、人に教えることの難しさを体験することができるので、会社にとっても良い経験となります。【造園】
- ・園芸や造園の専門知識を持つ人材が少なくなってきました。公園業務の発注者も、道路部局からの異動者が多く、施工業者も造園の知識が少ない土木業者が受託し、庭園設計に意図が上手く伝わらない例もあります。引き続き、造園業界の下支えと人材の輩出に貢献下さい。【造園設計】
- ・自分の手で植物を育てたり、管理する作業は、実践が多いほど忘れず覚え、確実に身に付きます。数多くの植物や作業を扱う授業として下さい。【公園】
- ・作業は、一つ一つが目的や意味があります。技術面だけでなく、深く考える人材教育も望みます。【公園】

(2) 技術的能力

- ・寄植え時の組み合わせや、園芸に関する質問に答えられる知識。【園芸店】
- ・植物に関する基礎知識【園芸店】【造園】【公園】
- ・経営、販売、営業に関する知識(SNS有効利用など)。【生産】
- ・基本的なPC操作(文書作成、Web会議主催)【園芸農協】【装飾】
- ・SNSやデジタル面を得意とする人材。【装飾】
- ・空間デザイン力。【冠婚葬祭】
- ・お客様に対する提案力。【園芸装飾】【造園】
- ・CAD操作(設計志望でなくても、現場管理内で使用するため。)(造園)
- ・都市公園の整備・管理運営、都市計画や環境の知識。【造園】
- ・iLLustrator、AutoCAD、BIMCIMなどのスキル。【造園設計】

(3) 具体的な資格・免許等

- ・フォークリフト免許【園芸農協】【園芸店】
- ・グリーンアドバイザー【園芸店】
- ・フラワー装飾技能士【装飾】【冠婚葬祭】
- ・色彩関係の資格【冠婚葬祭】
- ・看護師、介護士、園芸福祉士【園芸福祉】
- ・免許(MT車)【造園】、準中型【市場】、トラック(2t)【造園】
- ・造園技能士(2、1級)、造園施工管理技士(2、1級)【園芸装飾】【造園】
- ・土木施工管理技士(2、1級)【造園】
- ・フルハーネス型墜落制止器具特別教育【造園】
- ・刈払機取扱作業安全衛生教育、チェーンソー、高所作業車【造園】
- ・伐木等(大径木等)特別教育【造園】
- ・玉掛け、移動式クレーン、小型(大型)車両系建設機械【造園】
- ・エクセル、CAD【造園】
- ・測量士、街路樹剪定士、植栽基盤診断士、職業訓練指導員、樹木医【造園】
- ・登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格取得【造園設計】
- ・農薬管理指導士など、農薬に関わる資格【公園】